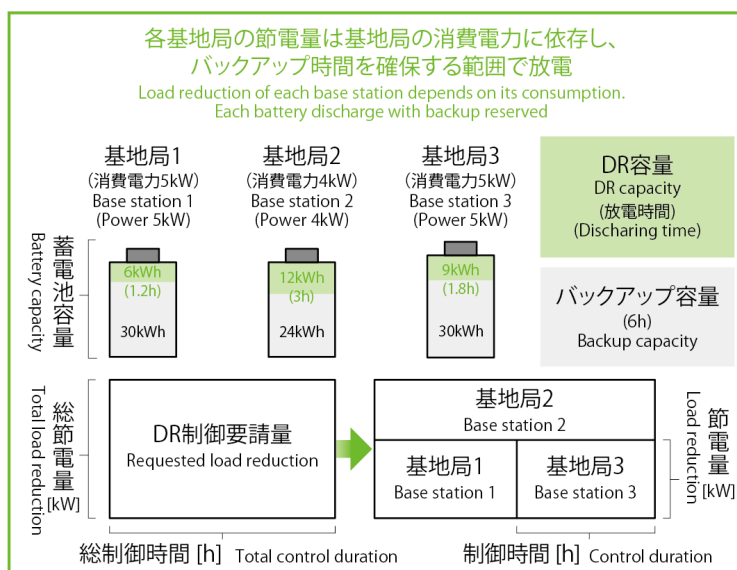
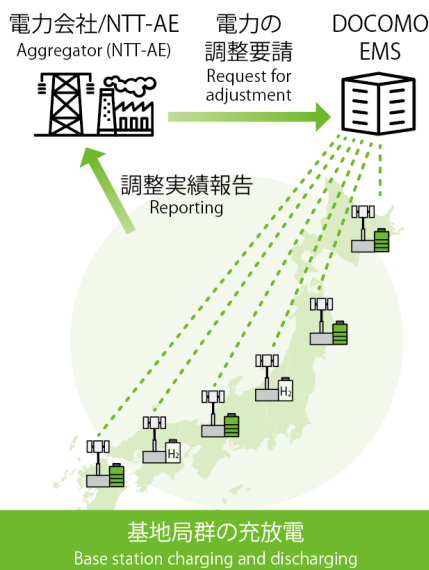


基地局やドコモショップに既設の蓄電池充放電制御により社会全体の節電に貢献します 携帯用基地局を活用したデマンドレスポンス

背景 – 技術課題

各拠点に設置している無線機の違いから放電量が異なるため、電力会社からの節電要請量を満たすには、各拠点が持つ蓄電池の充放電タイミングを適切に制御する必要があります。

第12回NTTグループサステナビリティカンファレンス優秀賞受賞
12th NTT Group Sustainability Conference Awards Outstanding Performance



研究目標 – 成果

各拠点に設置されている蓄電池を、冬など電力がひっ迫しているタイミングで、複数の蓄電池の放電制御を行うことで、社会全体の節電として貢献することができます。

技術ポイント

01 要素技術

蓄電池のバックアップ容量を確保した上で、電力会社からの節電要請量を満たすように、各拠点における蓄電池の充放電スケジュールを最適に決定する技術

02 市中技術差異点

本技術に関して、自社で特許登録・論文採録に至っており、制御基盤も内製開発した。現在は東京電力管内・四国電力管内の基地局・ドコモショップで商用運用中

利用シーン エネルギー

R&Dフェーズ ビジネス展開

【出展企業】
株式会社NTTドコモ クロステック開発部

【共同出展社/社外連携先】
—

【問い合わせ先】
エネルギー技術開発担当

【関連Link】
https://group.ntt.jp/sus_conf/A41.html